

－ 地域に防災を導入 －

瀬戸内市の地域防災推進について

岡山県瀬戸内市総務部総務課  
地域安全推進室 主事 松井隆明  
TEL : 0869-22-3904/FAX : 0869-22-3299  
Email : anzen@city.setouchi.lg.jp

■瀬戸内市の概況

合併：平成16年11月1日、旧牛窓・邑久・長船3町が合併し、「瀬戸内市」となる。

人口：39,212人(14,684世帯) ※H23.10.1現在

市花等：●市の花「きく」 ●市の木「オリーブ」

●市の鳥「めじろ」●市の海産物「カキ」

位置：岡山県東南部 南は瀬戸内海に面し、西に岡山市、東、北に備前市と隣接

地形：面積は125.43K㎡。

西端を南北に一級河川吉井川が流れ、中央部には干田川・千町川との間に平野が広がり、牛窓地域、邑久町東部の海岸線一体は瀬戸内海国立公園に指定されている。

基本理念：「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」

※瀬戸内市ホームページ：<http://www.setouchi.lg.jp>



■瀬戸内市の災害観

浸水害：一級河川「吉井川」とその支流「干田川」・「千町川」氾濫による浸水害

※昭和26年に吉井川、昭和51年、平成2年に支流2河川が氾濫、未曾有の大災害を経験

高潮災害：牛窓地域、邑久町東部の沿岸部で常襲的に被害

※平成16年台風16号では床上・床下浸水733戸

土砂災害：急傾斜地、土石流の土砂災害警戒区域指定120区域

地震津波：東海・東南海・南海地震とその津波

震度5強～6弱（現時点の想定）

2時間11分後、2.76m津波来襲（岡山県想定）

津波高TP+4.69m（設計潮位+津波の波高）

※明治の南海地震で地震津波被害の記録あり



昭和51年台風17号による浸水害の記録  
(邑久町尾張千町平野)

■瀬戸内市の防災

●情報伝達体制整備

デジタル系（同報・移動系）防災行政無線（H18）

全国瞬時警報システム（J-ALERT）（H20）

エリアメール配信開始（23.11.1配信スタート）

●防災マニュアル

災害時初動マニュアル（H17）

避難勧告等の判断基準・伝達マニュアル（H22）

災害時要援護者避難支援計画・支援マニュアル（H21）

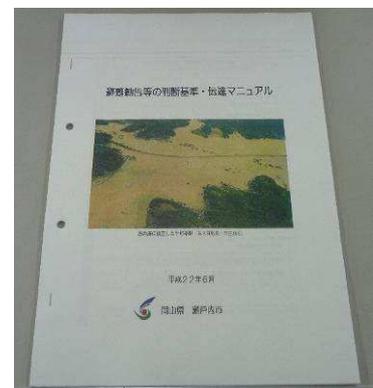
●防災訓練

市総合防災訓練（毎年防災週間中開催・岡山県と連携）

図上防災訓練（岡山県と連携）

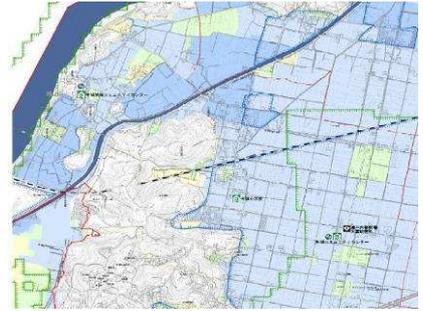
●職員研修

市職員・市議会議員対象の防災研修（H23～）



避難勧告等の判断基準・伝達マニュアル

- 防災体制整備  
緊急配備職員の指名 (H22)  
災害用備蓄計画 (H23)
- 防災啓発  
出前講座事業 (H17～)  
ハザードマップ (津波・高潮、洪水、土砂災害)
- 自主防災組織  
設置促進・活動活性化支援事業 (補助金)



瀬戸内市ハザードマップ

- 瀬戸内市の自主防災組織率
  - 結成率：178 自治会／309 自治会 56%程度 (県平均程度)
  - 平成 18 年度防災行政無線整備を契機に促進開始
  - 補助金制度：  
経費：資機材整備、防災マップ、研修会開催に係る費用  
金額：対象経費の 1/2 以内で 5 万円限度  
(1 組織年 1 回、ただし資機材整備は 5 年に 1 回)



自主防災組織結成式の様子

- 平成 23 年度から地域防災啓発事業を始動
  - 2 小学校区、3 自治会で防災ワークショップ等を実施

事業名：

- ・瀬戸内市自主防災活動促進事業(瀬戸内市)
- ・協働の防災まちづくりモデル事業(岡山県)

内容：

災害図上訓練 DIG を通じた防災マップ作成支援、  
組織づくり、活動計画など活性化支援



裳掛地区災害図上訓練 DIG の様子

(瀬戸内市自主防災活動促進事業)

- 今城小学校区 (邑久町西部)  
共 催：今城コミュニティ協議会 (大水害経験地域、津波被害想定地域)  
テーマ：浸水害
- 裳掛小学校区 (邑久町東部)  
共 催：裳掛地区コミュニティ協議会 (高潮・内水被害常襲、津波被害想定地域)  
テーマ：地震・津波

(協働の防災まちづくりモデル事業)

- 災害時要援護者支援モデル地区  
牛窓 関町自主防災会  
(高潮・内水被害常襲地域、津波被害想定地域)  
邑久 福元グリーントウン自主防災会 (災害経験なし)  
長船 ローズタウン自治会 (災害経験なし)



子どもたちで通学路防災マップを作成  
「ぼうさい探検隊」作品応募中

(その他)

- 幼稚園、保育園を中心とした防災教室を開催  
市民活動団体との連携による防災人形劇のほか、紙食器作り、非常持ち出し品なあにクイズなど楽しく学べる防災学習会を実施し、児童とその家庭防災への結びつきを図っている。  
※保護者・市民活動団体から「家庭防災会議の日」制定の要望とその動きが始まっている。

